# 令和6年度　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

| | | N | 令和5年度予算 | 枠 | 地方単独事業 | エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活困難者に対して事業の効果が直接及ぶ | 臨時の措置であることがわかる事業名称としているか | 交付対象事業の名称 | 経済対策との関係 | 対象外経費に臨時交付金を充当していない | 推奨事業メニュー | 当を選択した理由、より効果があると考える理由 | A 総事業費 | B 交付対象経費 | B 1 国の R5補正予算分（交付限度額①）（推奨事業メニュー分） | B 2 国の R5補正予算分（交付限度額②）（低所得者支援枠分）給付費 | B 2 国の R5補正予算分（交付限度額②）（低所得者支援枠分）事務費 | B 3 国の予備費等（交付限度額③）（地方創生臨時交付金（一体支援枠分））給付費 | B 3 国の予備費等（交付限度額③）（地方創生臨時交付金（一体支援枠分））事務費 | B 4 国の R5予備費分（交付限度額④）（給付支援サービス分） | C その他（一般財源や補助対象外経費等） | 事業の概要（①②③④を必ずそれぞれの項目毎に明記）<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③限度額（対象数、金額等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 特定事業等支援 | 個人を対象とした給付金等 | 基金 | 事業始期 | 事業終期 | 成果目標（可能な限り定量的指標を設定） | 実施状況の公表等について（HP、広報誌など） | 備考1（重点支援地方交付金の国庫を充当した事業等の進捗状況に記載されている対象分野） | 備考2 | 備考3 | 県当体での予算区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | 合計 | 1,826,573 | 1,453,945 | 128,974 | 259,252 | 9,259 | 960,610 | 95,850 | - | 372,628 | | | | | | | | | | | | | | |
| 差押禁止法の対象範囲 ※事務連絡参照 | 令和5年度住民税均等割非課税世帯（7万円）（低所得世帯支援枠） | 1 | R5.補正 | 推奨事業・低所得 | ○ | ○ | ○ | 住民税非課税世帯生活支援給付金（追加分）支給事業 | 1．物価高から国民生活を守る | ○ | － | | 272,219 | 272,219 | 3,708 | 259,252 | 9,259 | | | | － | ①物価高が続くなかで低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。<br>②低所得世帯への給付金及び事務費<br>③R5.R6の差額給付金額<br>R5年分の住民税非課税世帯　15238世帯×70千円　の3%R6計上<br>事務費12967千円<br>事務費の内容　［費用費（事務用品等）　役務費（郵送料等）　業務委託料　として支出］<br>※R5年度分の住民税非課税世帯　（15238世帯） | － | ○ | － | R6.2 | R6.4 | 対象世帯に対して令和6年2月までに支給を開始する | ホームページ、広報誌 | 対象分野に関連しない | | | R5補正（地） |
| | 一体給付（給付金・定額減税一体支援） | 2 | R5.補正・予算 | 推奨事業・一体支援 | ○ | ○ | ○ | 定額減税補足給付金等支給事業 | 1．物価高から国民生活を守る | ○ | － | | 1,123,772 | 1,123,772 | 67,312 | | | 960,610 | 95,850 | | － | ①物価高が続くなかで低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。<br>②低所得世帯への給付金及び事務費<br>③R5.R6の差額給付金額<br>令和5年度所得割非課税世帯　1720世帯×100千円、令和6年度非課税化世帯　2018世帯×100千円、令和6年度所得割のみ課税化世帯　404世帯×100千円、子ども加算　271人×50千円、定額減税補足する給付の対象者　3497人（31310千円）　の3%R8計上<br>事務費，163182千円<br>事務費の内容　［費用費（事務用品等）　役務費（郵送料等）　業務委託料　最期料及び賃借料　その他　として支出］<br>※低所得世帯等の給付対象世帯数（4348世帯）、定額減税を補足する給付の対象者数（3497人） | － | ○ | － | R6.3 | R7.3 | 対象世帯に対して令和6年3月までに支給を開始する | ホームページ、広報誌 | 対象分野に関連しない | | | R6補正（地） |
| | （デジタル庁）給付支援サービス | 3 | | | | | | | | | | | － | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 住民税均等割非課税世帯等への支援関連の給付費（家計急変への緊Ⅲ.Ⅳ.緊Ⅴ.緊Ⅵ） | 4 | | | | | | | | | | | － | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 一体給付関連の給付費（上乗せ策、生活費） | 5 | | | | | | | | | | | － | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務費（上乗せ・横出し） | 6 | | | | | | | | | | | － | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 7 | R5.補正 | 推奨事業 | ○ | ○ | ○ | 新型コロナウイルス感染予防接種自己負担額助成事業 | 1．物価高から国民生活を守る | ○ | 生推奨事業メニュー第ふれ新に効果が高と判断する地方単独事業 | 物価高騰とワクチン接種料自己負担の影響により、高齢者を対象のワクチン接種を控えることが予想されるなかで、ワクチン接種料を助成に取れることにより、高齢者の生活者支援さらに効果を図る。物価高のなかでワクチン接種、ですることで、感染予防・重症化予防による健康維持に寄与することができるため。 | 430,582 | 57,954 | 57,954 | | | | | 372,628 | ①物価高騰の影響を受けている高齢者等に対し、令和6年度新型コロナウイルス予防接種に係る自己負担額を助成することで、生活者支援を行うとともに、接種しやすい制度とすることで感染症予防に取り組む。<br>②一人当たり自己負担額を3000円のところ2000円を助成する。<br>③対象数28,977人<br>【総事業費】<br>接種受託料　28,977人 × 2,000円=57,954千円<br>【対象事業】<br>事務費　47千円　役務費　3,485千円<br>委託料　427,005千円<br>ワクチン接種　自己負担あり　14,300円 × 28,977市=414,271,100円<br>ワクチン接種　自己負担なし　15,300円 × 400市=6,225,300円<br>予防費作成封入封緘　3,452,900円<br>※新型コロナ定期接種ワクチン接種事業助成金：245,514千円、一般財源：127,114千円<br>※助成は次の高齢者と、61歳～64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能又は ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがあり、身体障害者手帳（免疫の機能の障害）をもつ者（疾患患者等）。 | － | － | － | R6.10 | R7.1 | 65歳以上接種率　68.8% | ホームページ | 対象分野に関連しない | | | R6補正（地） |